

1 以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

残念ながら我々は、生まれながらに統計を理解できるわけではありません。例えば、健康で長生きする人が増えたというデータがあっても、自分自身が健康でいられるか分からないから不安だという人がいますが、それは論理的とは言えません。そうしたあいまいな不安感を解消するためにも、データと統計について学校で早めに教えるべきです。

意外に思うかもしれませんが、データを正しく理解できるかどうかは、知能の高さとは関連しません。

次のような実例があります。ある皮膚疾患に新種の塗り薬を塗ってもらった場合と、塗らなかった場合で、それぞれ症状が改善した人数と悪化した人数を示しました。

ここで、薬は効いたか効かなかったか質問します。薬を処方した人数と処方していない人数は異なるので、効果については、その割合を比べなければなりません。計算が苦手な人は、人数だけと比較して答えを間違え、計算が得意な人は割合を比較して正しく答えました。

ところが、別バージョンの実験を行うと、結果は大きく変わりました。皮膚疾患を犯罪率に、塗り薬を塗ったかどうかを、市民が公共の場で銃を携帯することを規制するかどうかへと問題の内容を変えたのです。

すると、犯罪率が銃規制によって「低下」したことを示すデータが示されたとき、銃規制を行うべきだと考える、リベラルで計算に強い人は、データを正しく読み解きました。しかし、銃規制を行うべきではないと主張する保守派の人は、計算に強い人であっても、銃規制が犯罪率の低下に効果があったという正しい答えを導きませんでした。

同様に、犯罪率が「上昇」したデータを示したとき、保守派で計算に強い人は金風正解しましたが、リベラルで計算に強い人は、大半が答えを間違えました。計算に強い人でも、銃規制に賛成か反対かという、自分の政治的信条に基づいた解答をしてしまうのです。

また、あるリスクを現実的な脅威として実感させるには、統計やデータよりもシリアスで具体的なケースの方が有効です。たとえば新型コロナウイルスの危険性を伝えるには、死亡者数や致死率などのデータを並べるよりも、たった一人の有名人が感染することのほうが効果的です。イギリスのボリス・ジョンソン首相が一時、集中治療室に入ったと報じられましたが、これで COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の危険性を実感した人が多いのではないのでしょうか。一度も会ったことがないのに、一流スポーツ選手や有名シンガーが感染すると他人事には思えないのです。

我々の認知能力はバイアス^①の影響をすぐに受けます。そうした限界を克服するために、データを理解する必要があります。調査や分析によって得られるデータから考え、自分自身の考えだけを信賴しないよう、常に心に留めておくべきです。*

だからこそ、私たちは歴史の中で理性を保ったための基準や制度を作ってきたのです。たとえば、科学の実験、言論や表現の自由、大学、裁判制度、民主的な機会などです。これらは、集団として合理的な判断を下せるようデザインされています。

インターネットや SNS においては自分が見たい情報しか、見えなくなりがちです。それを「フィルターバブル」と言います。我々は、自分と異なる意見を持つ人々に対して「彼らはフィルターバブルに入っている」と一蹴してしまいがちですが、私たち自身もフィルターバブルの中にいることは気付いていません。

自分が正しいと思わせてくれるストーリーや配事を散らすのは楽しいものです。反対に、自分の見方に批判的な内容に触れることは不快です。しかし、健康に過ごすため、食べずに運動を心がけるように、自分とは異なる意見も傾聴すべきです。

普段から、自分と意見の異なる人と積極的に意見交換した方が良いでしょう。教育を受けたはずの科学者でさえ、この落とし穴の例外ではありません。私が「バイアス・バイアス」と呼ぶ誤謬^{ゴッソウ}があります。自分もバイアスに囚われているということを忘れ、自分とは意見の違う人こそがバイアスを持っていると思い込むことです。

あるリベラルな三人の社会科学者は「保守はリベラルよりも敵対的かつ攻撃的である」という論文を発表しました。しかし、実はデータの分析を誤っており、本当はリベラルの方が敵対的かつ攻撃的だということに気が付き、論文を取り下げたのです。

（スティーブン・ピンカー「認知バイアスが感染症対策を遅らせた」、大野和基^②『コロナ後の世界』、文藝春秋、2020年より抜粋）

＜注＞ バイアス：偏り、偏向

（広辞苑第七版（岩波書店）より抜粋）

問1. 文章の前半部分（最初から*まで）の要旨をまとめなさい。（250字以内）

問2. 下線部に関して、筆者の考えを踏まえ、不快感から自分の意見に批判的な意見を述べる傾向を弱めるにはどのようにすればいいか、具体例を一つあげ、あなたの考えを述べなさい。（400字以内）